

# ときしホームヘルパー通信

平成25年9月号

土岐市社会福祉協議会

土岐市下石町一〇六〇

NO.20



## 十五夜のはなし



十五夜とは、陰暦十五日の満月の夜のこと。特に、陰暦八月十五日の夜のことを言います。月見に最適とされ、酒宴を催し、詩歌を詠む習わしがありました。

また、「芋名月」と呼ぶのは、この時期に収穫される里芋を供えるためで、月見団子は、その代わりと言われています。

最近では十五夜と言っても、お店で買ったススキと月見団子をお供えするだけの家庭が多いようですが、数十年前までは各地で様々な行事が行われていました。南九州や沖縄などでは、十五夜に綱引きをする風習があります。

ススキも全国でお供えされています。供えたススキを家の軒に吊るしておく一年間病気をしないという言い伝えがあります。

また、お供えする月見団子の個数は、その年の旧暦の月数というのが一般的で、平年は十二個、閏月がある年は十三個お供えします。

島根県、秋田県、山口県、岩手県  
大津被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

## 防災対策をしましょう

- 「非常持出品」のチェックをしましょう。
- ・ 非常食(水)
- ・ 携帯ラジオ(予備電池)
- ・ 懐中電灯(予備電池)
- ・ 救急用品、常備薬、処方箋コピー
- ・ 貴重品(現金、通帳コピー、健康保険証コピー等)
- ・ 衣類、生活日用品
- ・ 家族の電話番号
- ・ 笛

### ○避難場所を確認しましょう。

土岐市社会福祉協議会でも、いざという時に供えて、防災訓練・防災教育を行っています。



## 職員研修を行っています

月に一度、職員を対象とした研修を行っています。8月は、介護技術の研修を行い、実際にベッドや車椅子を使用しての実技を通して、利用者介護者共に負担の少ない介助方法を学びました。

